



# 第9弾芦別プレミアム商品券 「2次販売」のご案内

第9弾芦別プレミアム商品券スーパー「どんぐり」の購入申し込みが、予定の10,000セットに達せず余りが生じたので、2次販売を行います。



←共通券(青色)  
10,000円分  
「すべてのお店で  
使用できます」

地元券(ピンク色)→  
2,000円分  
「芦別市に本社、本店  
のあるお店のみで使  
用できます」



## ○販売日時

10月28日(日)午前9時販売開始  
完売次第、終了します

## ○販売場所

総合福祉センター別館2階ふれあいホール  
※午前9時まで施設内には入れません  
※入口は別館側のみとなります

## ○販売方法

- ①市民・世帯主を問わず販売します  
※市民、世帯主確認は行いません
- ②先着順の販売とします
- ③1人2セット限定で販売します
- ④1次販売で購入した方も購入できます

## ○販売内容

1セット12,000円分の商品券を2セット  
20,000円で販売します

【お願い】 駐車スペースには限りがあり、混雑が予想されますので市民駐車場等をご利用ください

お問い合わせ先／芦別商工会議所 ☎22-3444

## 市長だより

18

9月6日に発生した未曾有の「胆振東部地震」により被害にあわれた多くの方々からのお見舞いと、お亡くなりになられた方々のご冥福、そして被災地の1日も早い復旧をお祈りいたします。

この地震により本市におきましては、過去最大の震度4を観測、発災直後には市内全域において停電となり、通電までに約44時間を要したほか、電話やスマートフォンなどの通信回線も一時不通となるなど、市民の皆さんの生活や市内の経済産業活動に大きな影響がありました。

この地震で、建物の損壊等の被害はなかったものの、6日深夜に、女性1名が自宅で転倒されて右わき腹を痛め骨折の疑いで救急搬送されたほか、新城町及び黄金町で、生乳タンクの冷却装置が使用できなくなり、生乳9・37tを廃棄されるという農業被害がありました。

市におきましては、この間、市民の皆さんの安全確保を最優先に緊急対応を図るため、市内全域への広報車による広報活動のほか、福祉センター及び頼城多目的研修センターの2カ所に避難所を設置し、両避難所において延べ97人、うち宿泊者延べ22人の受け入れを行いました。

地震災害の脅威の現実を突きつけられ、改めて、日頃からの災害の備え、点検の重要性を痛感したところです。

今後これらへの対応についての検証と併せ、関係機関、関係団体、企業なども協議、連携し、災害対策への強化に努めてまいります。

9月14日、本市のご出身で現在、龍谷大

学政策部教授の土山希美枝さんに「星の降る里あしべつ応援大使」の委嘱状を交付させていただきました。今年4月に就任いただいた高橋慶彦さんに続いてのお2人目となる応援大使の誕生です。土山先生は、大学での研究のかたわら、全国各地でまちづくりや、議会改革などをテーマとした講演会の講師などとしても活躍されておられる方で、かねてより、本市の応援大使として適任の方と考え、8月に応援大使への就任についてご依頼したところ、快諾をいただいております。同日には、芦別市民憲章制定50周年記念事業として、「わたしたちが芦別をつくる」と題しての記念講演を行っていただきました。

今後、ふるさと芦別のEtoとともに、まちづくりへのご提言やアドバイスをいただけることに対し、大変心強く、有り難く思っております。

9月18日、姉妹都市カナダ・シャローツトタウン市から中学生6名と同市の職員お2人が、平成18年以来12年ぶりに芦別にお越しいただきました。姉妹都市提携25周年の節目を迎えた中での訪問であり、心からの歓迎と親善友好の促進、さらなる出会いが生まれますことを期待いたしております。

24日まで本市に滞在され、この間、快く中学生の受け入れをいただきましたホストファミリーの皆様方そして国際交流事業にご尽力いただいております芦別市国際交流協会並びに関係者の皆様のご支援、ご協力に厚くお礼を申し上げます。

芦別市長 萩原 貢